

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファインデックス
 コード番号 3649 URL <https://findex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 輝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 財務IR担当 執行役員 (氏名) 村上 貴史 TEL 03 (6271) 8958
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月28日
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	5,841	12.5	1,525	1.9	1,544	1.1	1,162	9.7
2023年12月期	5,191	14.3	1,496	45.5	1,527	44.7	1,059	46.5

(注) 包括利益 2024年12月期 1,151百万円 (9.1%) 2023年12月期 1,056百万円 (45.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	45.30	—	22.3	24.5	26.1
2023年12月期	41.31	—	23.9	28.0	28.8

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	6,684	5,607	83.8	218.24
2023年12月期	5,934	4,845	81.5	188.67

(参考) 自己資本 2024年12月期 5,602百万円 2023年12月期 4,838百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	1,898	△2,434	△412	1,614
2023年12月期	842	△296	△270	2,563

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	4.00	—	9.00	13.00	335	31.5	7.5
2024年12月期	—	7.00	—	8.00	15.00	387	33.1	7.4
2025年12月期(予想)	—	8.00	—	9.00	17.00		39.4	

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,022	3.1	1,465	△4.0	1,515	△1.9	1,108	△4.7	43.18

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期	26,608,800株	2023年12月期	26,608,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期	937,033株	2023年12月期	962,288株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	25,661,312株	2023年12月期	25,637,246株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年12月期 140,000株、2023年12月期 154,400株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年12月期 147,430株、2023年12月期 157,082株)。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	5,800	12.6	1,495	3.2	1,516	2.4	1,115	8.5
2023年12月期	5,153	14.8	1,448	41.0	1,481	40.2	1,028	39.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	43.45	—
2023年12月期	40.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	6,767	5,686	84.0	221.52
2023年12月期	6,057	4,970	82.1	193.81

(参考) 自己資本 2024年12月期 5,686百万円 2023年12月期 4,970百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

決算説明会の概要を後日、当社のウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

■業界動向と当社の取り組み

当社グループは、企業理念である「価値ある技術創造で社会を豊かにする」を実現するために、医療用のソフトウェアや医療機器、行政組織のDXを推進するソリューションを中心とした製品・サービスを開発・提供しております。「新しい発想・技術の探求」を基に「モノ創りの喜びを感じられる研究開発」を推進し、「お客様の期待を上回り、社会の発展に貢献する製品」を提供することを、経営の基本方針として定めております。世の中に求められる画期的なシステムで新しい社会インフラの構築を担い、医療や人々の健康を支える企業として、社会的責任を果たしてまいります。

また、当社グループはサステナビリティに関する取り組みを強化しております。環境への取り組みとしては、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)の質問書への回答や、TCFDのフレームワークに沿った開示など、国内外のイニシアティブへの対応を積極的に行っております。社会への取り組みとして、女性管理職比率の向上を実現するために、女性活躍推進法に基づき策定した当社の行動計画に従い、キャリアパスのヒアリングや研修の導入など様々な施策を展開しております。2024年3月には時間外労働の削減やノー残業Dayの実施、男性の育児休暇取得の推奨等の取り組みにより、「子育てサポート企業」として厚生労働省の「くるみん」認定を取得しました。そのほか、所定労働時間の短縮や国内遠隔地・海外居住者を対象としたフルリモート勤務制度を設定するなど、柔軟かつ多様な働き方を支援することで、従業員のQOL向上を図っております。こうした職場環境の整備や社内制度の充実による積極的な人材投資を実施することで、サステナブルな経営を推進しております。

■業績

2024年の連結業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率	通期業績予想 達成率
売上高	5,191,735	5,841,379	649,643	12.5%	101.0%
営業利益	1,496,570	1,525,418	28,847	1.9%	96.9%
経常利益	1,527,453	1,544,705	17,251	1.1%	97.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,059,140	1,162,365	103,225	9.7%	106.0%

当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高5,841,379千円(前年同期比12.5%増)、営業利益1,525,418千円(同1.9%増)、経常利益1,544,705千円(同1.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,162,365千円(同9.7%増)となりました。医療ビジネス及び公共ビジネスの好調を主因に、売上・利益ともに前年同期の業績を上回りました。

2024年12月期のセグメント別(連結)の経営成績は、以下のとおりです。

《医療ビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率
売上高	4,935,926	5,494,943	559,017	11.3%
営業利益	1,625,997	1,653,229	27,231	1.7%

医療ビジネスセグメントの主力製品は、医療機関のDXを支援する画像ファイリングシステム「Claio」や診療記事記載システム「C-Note」、文書作成システム「DocuMaker」です。

当連結会計年度では、病院案件53件、診療所案件119件の新規導入・追加導入及びシステム更新を実施しました。また、保守サービスやコンサルテーションサービスも順調に推移しました。結果、当セグメントの経営成績は、売上高5,494,943千円(前年同期比11.3%増)、営業利益1,653,229千円(同1.7%増)となりました。大型案件の貢献による増収効果がありましたが、昇給や人員増に伴う人件費の増加などがあり、営業利益は小幅な増加となりました。

当セグメントでは、従来のオンプレミス型製品に加え、新たな医療DXのニーズを取り込む「PiClis」ブランドを代表とするクラウドサービスの拡充や拡販、R&Dを推進しております。また、クラウドソリューションと医療AI技術の提供を主業とする子会社のフィッティングクラウド株式会社は、生成AIを活用し医師業務の省力化を図るソリューション「CocktailAI」の拡販を目指し、新機能追加、当社製品並びに他社製品との連携を進めています。2024年10月にはGoogle Cloudが主催する「第2回生成AI Innovation Awards」において、革新性と実用性が高く評価された「CocktailAI」が優秀賞を受賞しました。

《公共ビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率
売上高	187,405	289,548	102,142	54.5%
営業利益	41,364	101,202	59,837	144.7%

公共ビジネスセグメントの主力製品は「DocuMaker Office」です。公共セクターのDXを支援する公文書管理・電子決裁システムと、医療機関事務部門の書類を作成・管理するシステムがあります。

当連結会計年度では、自治体向けパッケージ12件、医療機関向けパッケージ4件が稼働し、これによる当セグメントの経営成績は、売上高289,548千円（前年同期比54.5%増）、営業利益101,202千円（前年同期比144.7%増）となりました。なお、自治体向けパッケージは月額利用のストック型ビジネスです。導入ユーザー数の増加に伴い、月額利用料収入が安定的に推移し、増収増益となりました。

自治体向けパッケージは、県庁などの導入実績が好材料となり、第4四半期中に代理店案件2件を受注しました。次年度稼働案件も複数進行中であり、大規模案件を中心に他システムとの連携を含めた追加案件の獲得にも注力しています。医療機関向けパッケージも導入作業が複数進捗し、順調に稼働へと進んでおります。また、系列病院間での利用を想定した案件を受注するなど、今後の更なる発展が期待されます。

サービス開始以来、自治体向けパッケージは累計39件、医療機関向けパッケージは累計9件が稼働しており、総利用者数は約34,000人に達しております。このうち、月額課金の利用者数は2023年度末比34%増の7,650人です。今後この増加傾向は続き、安定的に利益が拡大していく見込みです。また、サービス開始以来の解約数は0件を維持しており、順調に顧客基盤を築いています。

《ヘルステックビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率
売上高	68,403	56,887	△11,516	△16.8%
営業損失(△)	△170,791	△229,013	△58,221	-

ヘルステックビジネスセグメントの主力製品は、視線分析型視野計「GAP」(注1)及び「GAP-screener」(注2)です。

「GAP」及び「GAP-screener」は、従来の検査手法とは全く異なるアプローチを用いて視野を測定することで可用性を高めた、安価で画期的なウェアラブルデバイスであり、初期の自覚症状に乏しい緑内障などの網膜疾患の早期発見率の向上に寄与します。本製品はこれまで検査の際に必須であった暗所の確保を不要とし、検査時間の短縮や患者の負担軽減を実現しました。更に、健診施設での利用を通じて網膜疾患初期の視野データを取得・分析し、それらを国内外の研究開発機関と共有することで、製薬や生命保険領域など様々なフィールドでの技術・サービス革新への寄与が期待されます。

当連結会計年度の製品販売台数は、海外出荷品を含め合計60台となりました。これによる当セグメントの経営成績は、売上高56,887千円（前年同期比16.8%減）、営業損失229,013千円（前年同期は営業損失170,791千円）となりました。本製品の出荷台数は前年度実績と同数であるものの、前年度にあった研究プロジェクト関連の売上計上が当年度はなかったことから減収となりました。減益の主な要因は給与の引き上げに伴う人件費の増加及び原材料の評価損計上によるものです。

当セグメントでは、全国各地の眼科医療機器販売代理店を通じて眼科病院・クリニックへ向けては「GAP」を販売するとともに、健診施設へ向けては「GAP-screener」を販売しております。論文掲載やマスメディアへの露出を通して製品の認知度が高まり、学会出展や医療従事者へのデモンストレーションも積極的に実施した結果、多数の引き合いをいただいております。

(注1) GAP：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000002

(注2) GAP-screener：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000003

(2) 当期の財政状態の概況

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額
資産合計	5,934,285	6,684,103	749,818
負債合計	1,088,925	1,076,912	△12,012
純資産合計	4,845,360	5,607,191	761,831

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は6,684,103千円となり、前連結会計年度末より749,818千円増加しました。流動資産は、現金及び預金の減少958,769千円、受取手形の減少114,069千円、及び売掛金の減少203,298千円を主たる要因とし、当連結会計年度末残高3,582,463千円（前連結会計年度末比1,424,491千円減）となりました。

固定資産は、有形固定資産の減少9,042千円に対し、無形固定資産の増加20,469千円及び投資その他の資産の増加2,162,882千円を主たる要因とし、当連結会計年度末残高3,101,640千円（前連結会計年度末比2,174,309千円増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,076,912千円となり、前連結会計年度末より12,012千円減少しました。

流動負債は、買掛金の増加27,910千円を主たる要因とし、当連結会計年度末残高774,270千円（前連結会計年度末比1,424千円増）となりました。

固定負債は、当連結会計年度末残高302,641千円（前連結会計年度末比13,436千円減）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、5,607,191千円となり、前連結会計年度末より761,831千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加749,474千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	842,844	1,898,767	1,055,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,937	△2,434,993	△2,138,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,494	△412,543	△142,049
現金及び現金同等物の増減額	275,413	△948,769	△1,224,182
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,747	2,563,160	275,413
現金及び現金同等物の期末残高	2,563,160	1,614,390	△948,769

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,614,390千円（前連結会計年度末比37.0%減）となり、前連結会計年度末に比べて948,769千円減少しました。各キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,898,767千円（前連結会計年度比1,055,923千円増）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益が1,542,760千円、売上債権の減少による増加373,926千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,434,993千円（前連結会計年度比2,138,056千円増）となりました。これは主として、無形固定資産（主に市場販売目的のソフトウェア）の取得による支出271,585千円、投資有価証券の取得による支出2,128,770千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払いを要因として412,543千円となりました（前連結会計年度の配当金支払いは270,494千円）。

(4) 今後の見通し

当社グループの2025年通期業績予想は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	2024年12月期 (実績)			2025年12月期 (予想)	増減率
	上期	下期	通期	通期	通期
売上高	3,205,521	2,635,858	5,841,379	6,022,000	3.1%
営業利益	940,372	585,046	1,525,418	1,465,000	△4.0%
経常利益	945,376	599,329	1,544,705	1,515,000	△1.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	701,324	461,041	1,162,365	1,108,000	△4.7%

当社グループの2025年12月期の連結業績予想は、2024年12月期実績に対し売上高は同水準を見込んでおります、一方、将来の成長に向けた人材投資を戦略的に実施することなどを主因にコストの増加を計画しており、前年比で減益となる見込みです。

当社の中核事業である医療ビジネスにおいては、クラウドビジネスの確実な立ち上げとターゲットの拡大により安定的な需要の獲得を見込んでおり、売上高は前年度とほぼ同水準で推移すると見込んでおります。公共ビジネスにおいては、製品知名度の向上等により、売上高は前年度を上回ると予測しております。ヘルステックビジネスも、出荷台数の増加に伴い、売上高は前年度を上回る見込みです。製品の市場浸透と営業体制の再構築に注力し、代理店網の拡大や機能追加、新製品の上市を進めることで業績への貢献を目指します。

なお、これまで個別業績予想及び中間期連結業績予想を開示してまいりましたが、2025年12月期より開示を省略いたします。

個別業績予想においては、投資家やステークホルダーが連結業績を重視する傾向が強まっていること、当社連結子会社の業績拡大に伴い個別業績の重要性が相対的に低下すると予想されること、を理由に省略することといたしました。

中間期連結業績予想の省略は、投資家やステークホルダーに誤解を招く可能性を無くすためです。当社の売上高は事業年度ごとに四半期のバランスが異なるため、短期的な業績比較や計画進捗率は年度比で大きく変動します。こうした変動が、年間を通じた適切な企業価値判断を阻害する要因になりうると考え、中間期連結業績予想を省略することといたしました。

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の修正が必要になった場合は、速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、革新的な製品力と高度なコンサルティング能力による市場での地位確立を通じて、企業価値の最大化を図っております。その実現に向けて、必要な投資を継続していくための内部留保の維持拡大を図りつつ、当社の経営成績、財政状態及び事業計画の達成度等を総合的に判断し、配当を実施する方針です。2024年12月期の期末配当につきましては、業績及び今後の事業展開等を勘案し、1株当たり8.00円とする配当案に決定いたしました。2025年12月期の配当につきましては、株主還元策の強化に伴い、中間配当及び期末配当をそれぞれ1円増配とし、1株当たり8.00円の中間配当、1株当たり9.00円の期末配当を予定しております。

内部留保資金は、優秀な人材の確保や事業成長の基盤である販売目的のソフトウェア資産の充実のために有効活用し、長期的に株主に利益を還元する体制の構築に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,693,160	1,734,390
受取手形	120,834	6,764
売掛金	1,066,487	863,188
契約資産	736,783	680,224
商品及び製品	216,844	184,197
仕掛品	3,967	5,304
原材料及び貯蔵品	118,376	50,383
その他	50,502	58,010
流動資産合計	5,006,955	3,582,463
固定資産		
有形固定資産		
建物	69,065	74,300
減価償却累計額	△22,702	△27,108
建物(純額)	46,363	47,192
その他	176,258	177,282
減価償却累計額	△133,366	△144,261
その他(純額)	42,891	33,020
有形固定資産合計	89,255	80,213
無形固定資産		
ソフトウェア	290,050	310,519
その他	344	344
無形固定資産合計	290,394	310,863
投資その他の資産		
投資有価証券	199,130	2,315,050
敷金	163,574	172,196
繰延税金資産	174,643	213,935
その他	10,332	9,380
投資その他の資産合計	547,680	2,710,563
固定資産合計	927,330	3,101,640
資産合計	5,934,285	6,684,103
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,379	67,289
未払金	99,701	104,913
未払法人税等	331,241	259,266
その他	302,524	342,800
流動負債合計	772,846	774,270
固定負債		
株式給付引当金	233,125	271,210
その他	82,952	31,430
固定負債合計	316,078	302,641
負債合計	1,088,925	1,076,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,259	254,259
資本剰余金	224,259	227,222
利益剰余金	5,157,662	5,907,136
自己株式	△791,956	△771,816
株主資本合計	4,844,223	5,616,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,386	△14,317
その他の包括利益累計額合計	△5,386	△14,317
非支配株主持分	6,522	4,706
純資産合計	4,845,360	5,607,191
負債純資産合計	5,934,285	6,684,103

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,191,735	5,841,379
売上原価	1,862,259	2,287,952
売上総利益	3,329,476	3,553,427
販売費及び一般管理費	1,832,906	2,028,008
営業利益	1,496,570	1,525,418
営業外収益		
受取利息	72	3,733
為替差益	16,869	-
補助金収入	11,740	13,530
受取ロイヤリティー	1,660	1,660
その他	540	362
営業外収益合計	30,883	19,287
経常利益	1,527,453	1,544,705
特別利益		
受取保険金	19,000	-
特別利益合計	19,000	-
特別損失		
減損損失	-	1,944
損害賠償金	22,000	-
特別損失合計	22,000	1,944
税金等調整前当期純利益	1,524,453	1,542,760
法人税、住民税及び事業税	495,465	417,584
法人税等調整額	△32,443	△35,373
法人税等合計	463,022	382,211
当期純利益	1,061,431	1,160,548
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	2,291	△1,816
親会社株主に帰属する当期純利益	1,059,140	1,162,365

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	1,061,431	1,160,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,386	△8,930
その他の包括利益合計	△5,386	△8,930
包括利益	1,056,045	1,151,618
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,053,753	1,153,434
非支配株主に係る包括利益	2,291	△1,816

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	254,259	224,259	4,372,694	△812,506	4,038,706	-	-	4,230	4,042,937
当期変動額									
剰余金の配当			△270,789		△270,789				△270,789
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,059,140		1,059,140				1,059,140
自己株式の処分			△3,383	20,549	17,166				17,166
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△5,386	△5,386	2,291	△3,094
当期変動額合計	-	-	784,967	20,549	805,517	△5,386	△5,386	2,291	802,422
当期末残高	254,259	224,259	5,157,662	△791,956	4,844,223	△5,386	△5,386	6,522	4,845,360

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	254,259	224,259	5,157,662	△791,956	4,844,223	△5,386	△5,386	6,522	4,845,360
当期変動額									
剰余金の配当			△412,890		△412,890				△412,890
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,162,365		1,162,365				1,162,365
自己株式の処分		2,963		20,139	23,103				23,103
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△8,930	△8,930	△1,816	△10,747
当期変動額合計	-	2,963	749,474	20,139	772,578	△8,930	△8,930	△1,816	761,831
当期末残高	254,259	227,222	5,907,136	△771,816	5,616,802	△14,317	△14,317	4,706	5,607,191

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,524,453	1,542,760
減価償却費	45,181	41,411
ソフトウェア償却費	212,564	249,321
減損損失	-	1,944
株式報酬費用	2,525	6,556
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	51,507	49,193
受取利息及び受取配当金	△73	△3,733
為替差損益 (△は益)	△16,869	-
補助金収入	△11,740	△13,530
受取保険金	△19,000	-
損害賠償金	22,000	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△562,845	373,926
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△23,182	99,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,829	27,910
未払金の増減額 (△は減少)	△38,410	7,517
その他	97,137	7,381
小計	1,241,418	2,389,964
利息及び配当金の受取額	28	619
保険金の受取額	19,000	-
利息の支払額	-	△3,772
損害賠償金の支払額	△22,000	-
法人税等の支払額	△395,602	△488,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	842,844	1,898,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△160,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	156,000	180,000
有形固定資産の取得による支出	△28,697	△31,076
有形固定資産の売却による収入	-	194
無形固定資産の取得による支出	△254,278	△271,585
投資有価証券の取得による支出	-	△2,128,770
敷金の差入による支出	△10,213	△13,148
敷金の回収による収入	277	235
その他	△23	△844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,937	△2,434,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△270,494	△412,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,494	△412,543
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	275,413	△948,769
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,747	2,563,160
現金及び現金同等物の期末残高	2,563,160	1,614,390

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式給付信託 (J-ESOP) における会計処理方法)

当社は、2015年10月29日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して市場から購入した自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託 (J-ESOP)」を導入することを決議しております。

この導入に伴い、2015年11月13日から2015年11月26日の間に資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)

(現：株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)) が当社株式194,200株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として連結貸借対照表上に計上する総額法を適用しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する自己株式は、連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。前連結会計年度末における計上額は119,108千円、株式数は154,400株、当連結会計年度末における計上額は108,000千円、株式数は140,000株であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医療ビジネス、公共ビジネス及びヘルステックビジネスの3区分を報告セグメントとしており、各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりであります。

(医療ビジネス)

医療システムの開発販売及びコンサルティング、医療データ集積・解析

(公共ビジネス)

公文書管理・決裁システムを中心としたDXソリューションの開発販売

(ヘルステックビジネス)

医療機器の開発販売、医療データの分析

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数字であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス			
売上高						
外部顧客への売上高	4,935,926	187,405	68,403	5,191,735	-	5,191,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,935,926	187,405	68,403	5,191,735	-	5,191,735
セグメント利益 又は損失(△)	1,625,997	41,364	△170,791	1,496,570	-	1,496,570
セグメント資産	2,505,533	163,936	224,305	2,893,775	3,040,510	5,934,285
その他の項目						
減価償却費	228,246	5,988	23,511	257,746	-	257,746
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	220,444	29,941	27,774	278,161	-	278,161

(注) 1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産(主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金2,670,833千円、投資有価証券199,130千円)であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス			
売上高						
外部顧客への売上高	5,494,943	289,548	56,887	5,841,379	-	5,841,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,494,943	289,548	56,887	5,841,379	-	5,841,379
セグメント利益 又は損失(△)	1,653,229	101,202	△229,013	1,525,418	-	1,525,418
セグメント資産	2,075,097	201,983	156,318	2,433,398	4,250,705	6,684,103
その他の項目						
減価償却費	236,050	25,039	29,643	290,733	-	290,733
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	231,465	49,707	18,837	300,009	-	300,009

(注) 1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産(主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,727,778千円、投資有価証券2,315,050千円)であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス		
減損損失	—	—	1,944	—	1,944

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産	188円67銭	218円24銭
1株当たり当期純利益	41円31銭	45円30銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,059,140	1,162,365
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,059,140	1,162,365
普通株式の期中平均株式数(株)	25,637,246	25,661,312
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式の期中平均株式数を前連結会計年度において157,082株、当連結会計年度において147,430株含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

当社グループは、医療ビジネス、公共ビジネス、及びヘルステックビジネスを報告セグメントとしております。

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当連結会計年度における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	1,525,591	108.1
公共ビジネス	91,951	125.7
ヘルステックビジネス	160,469	106.9
合計	1,778,012	108.7

(注) 金額は当期総製造費用によるものであります。

② 受注状況

当連結会計年度の受注状況は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	3,219,026	84.4	1,247,735	74.3
公共ビジネス	274,899	139.2	167,736	174.3
ヘルステックビジネス	55,843	95.2	11,818	84.9
合計	3,549,769	87.2	1,427,290	79.8

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
医療ビジネス			
ソフトウェア	3,013,800		
(うち代理店販売額)	(640,028)	51.6	107.2
ハードウェア	471,187		
(うち代理店販売額)	(10,058)	8.1	149.0
サポート	1,591,972		
(うち代理店販売額)	(487,811)	27.2	105.4
その他	417,983	7.2	140.6
公共ビジネス			
ソフトウェア	273,978		
(うち代理店販売額)	(18,973)	4.7	146.2
ハードウェア	7,668	0.1	-
その他	7,902	0.1	-
ヘルステックビジネス	56,887	1.0	83.2
合計	5,841,379	100.0	112.5